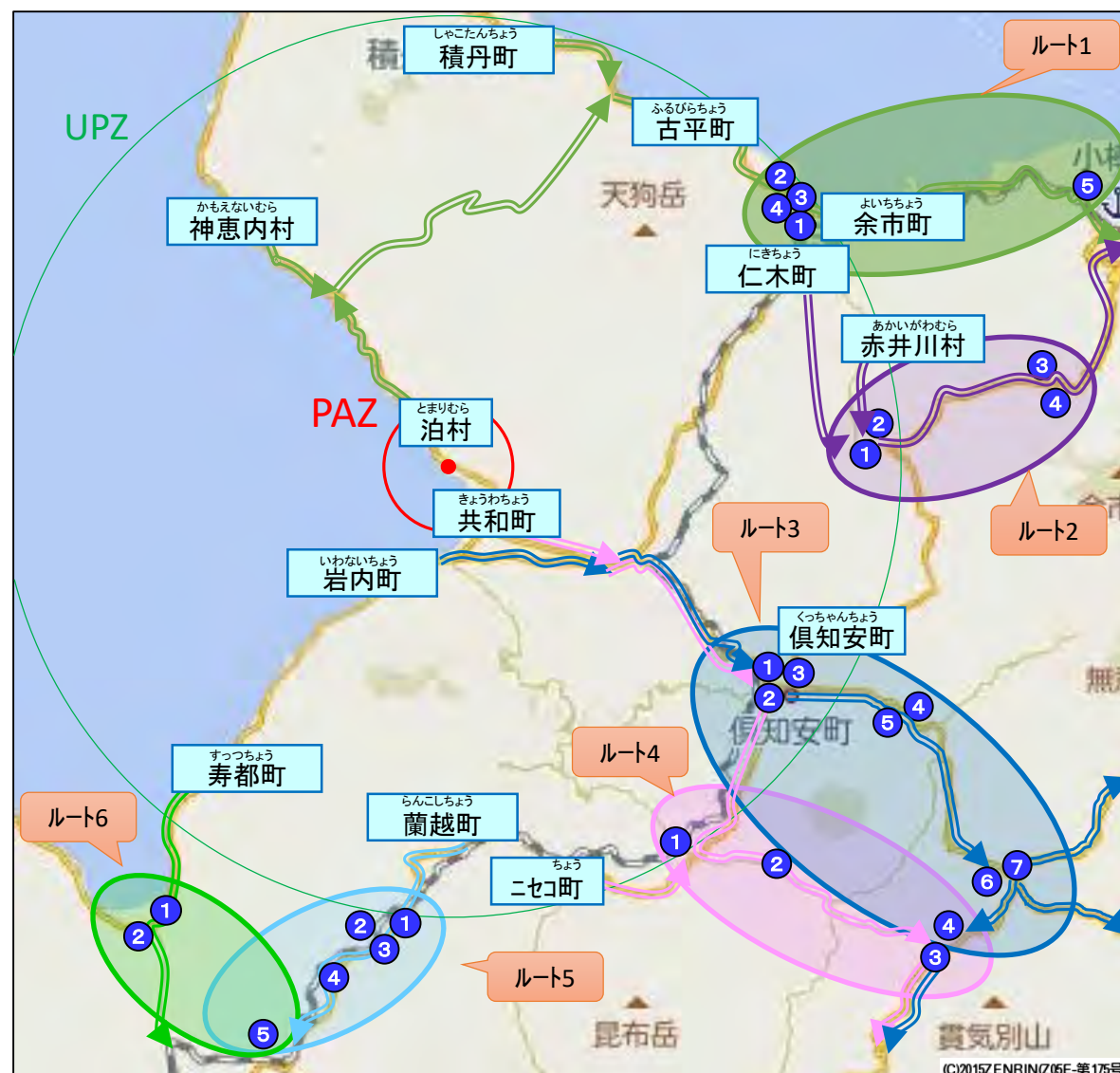


避難退域時検査場所の候補地の設定 <P104>

- 北海道では、緊急時の避難を円滑に行うため、UPZ圏内人口や避難経路等を考慮し、避難元町村と各避難退域時検査場所の対応付けを行ったうえで、候補地をあらかじめ準備。



ルート	検査場所	避難元町村
1	①余市アップルポート(農道空港)②中央水産試験場③余市河口漁港④道の駅「スペース・アップルよいち」⑤おたるマリナ広場	泊村、神恵内村、 しゃこたんちょう 積丹町、古平町、 よいちちょう 余市町
2	①都運動公園(赤井川村)②道の駅あかいがわ③赤井川村山村活性化支援センター(キロリゾート入口)④キロリゾート	仁木町、赤井川村
3	①後志総合振興局②倶知安町中央公園③旧東陵中学校④京極町総合体育館⑤京極スリーパーク⑥喜茂別町民公園⑦喜茂別町農村環境改善センター、【再掲】ルスツリゾート	岩内町、倶知安町
4	①道の駅「ニセコビュープラザ」・ニセコ町運動公園②羊蹄山自然公園③道の駅「230ルスツ」④ルスツリゾート	共和町、ニセコ町
5	①道の駅「らんこしふるさとの丘」②旧目名小学校③蘭越町田下PA④黒松内町白井川PA⑤道の駅「黒松内」	蘭越町
6	①潮路小学校②ゆべつのゆ、【再掲】道の駅「黒松内」	寿都町

UPZ圏内における在宅の避難行動要支援者の防護措置<P62>

- 在宅の避難行動要支援者及び同居者並びに屋内退避や一時移転等の支援者に対し、防災行政無線、緊急速報メールサービス、TV、ラジオ等を用いて情報提供を行い、在宅の避難行動要支援者の屋内退避・一時移転等を実施。
- 連絡がとれない場合は、関係町村職員や消防職員等が、屋内退避・一時移転等の協力を実施。
- 一時移転等が必要となった在宅の避難行動要支援者は、関係町村が準備した一時滞在場所に移動。その後、関係町村は、移動した在宅の避難行動要支援者を、避難生活環境がより良いホテル・旅館に、優先的に移動させる。

関係町村災害対策本部

防災行政無線・緊急速報メールサービス・
TV・ラジオ等による情報提供

連絡等

屋内退避

同居者・支援者

協力

在宅避難行動
要支援者

一時移転等

関係町村職員
・消防職員等

移動

一時滞在場所

避難先(ホテル・旅館)
(278施設)

UPZ圏内の在宅の避難行動要支援者数

関係町村	UPZ圏内	関係町村	UPZ圏内
とまりむら 泊村	11人(11人)	くつちゃんちよう 俱知安町	1,419人(851人)
きようわちよう 共和町	310人(308人)	しゃこたんちよう 積丹町	93人(56人)
いわないちよう 岩内町	1,535人(1,463人)	ふるびらちよう 古平町	87人(87人)
かもえないむら 神恵内村	8人(8人)	にきちよう 仁木町	297人(229人)
すつつちよう 寿都町	111人(111人)	よいちちよう 余市町	2,778人(1,736人)
らんこしちよう 蘭越町	1,003人(701人)	あかいがわむら 赤井川村	277人(141人)
ちよう ニセコ町	1,009人(605人)		
		合 計	8,938人(6,307人)

※1 ()内は支援者有り。

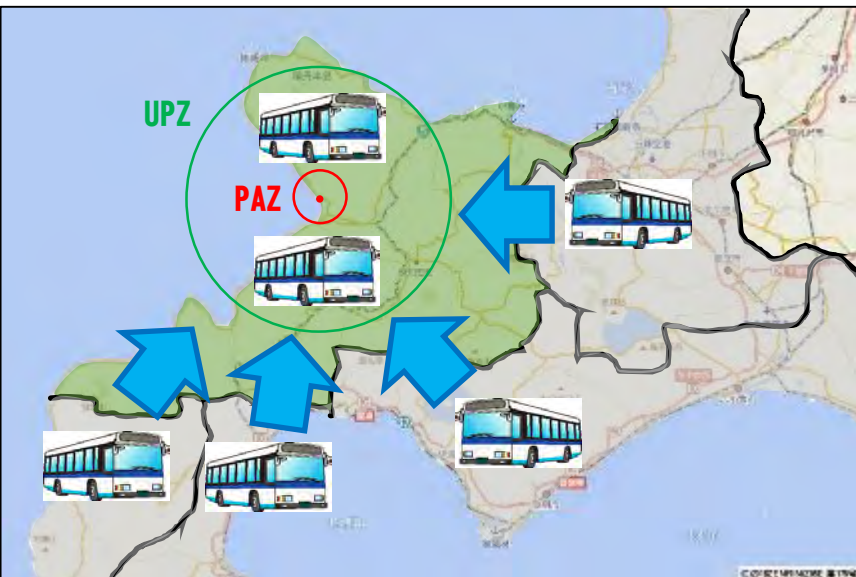
※2 人数は、平成28年6月30日現在。

※3 支援者がいない者については、今後支援者を確保していく。また、支援者が確保できない場合においても、緊急時に消防団や自主防災組織等の避難支援等関係者と情報を共有し、避難支援等関係者による屋内退避・一時移転等の支援ができる体制を整備。

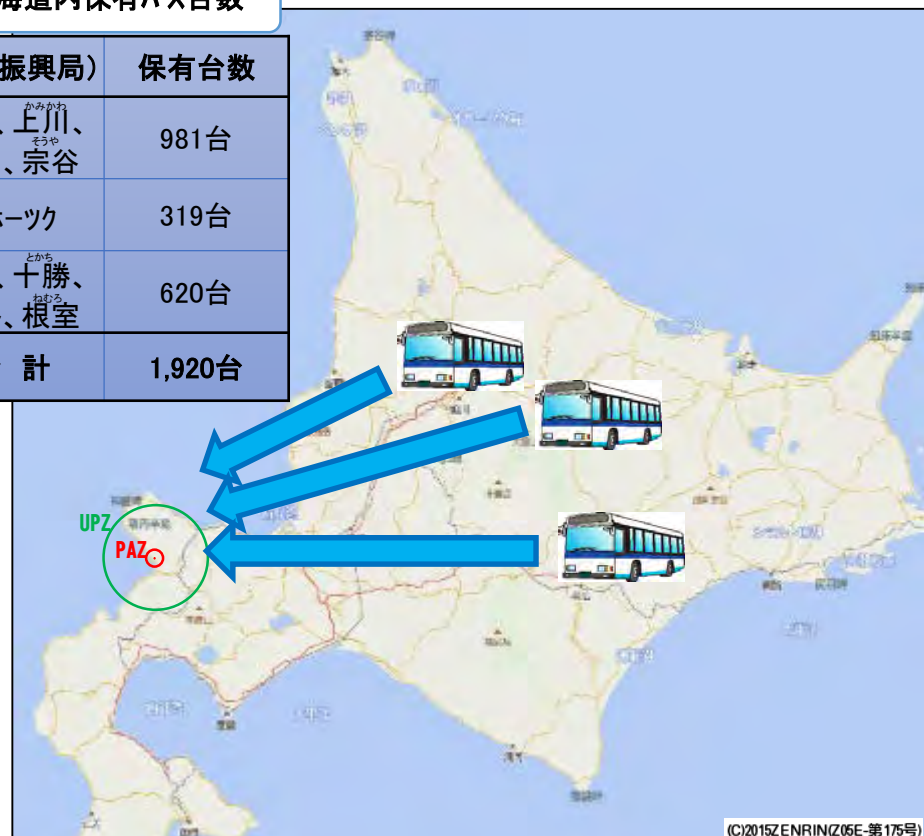
UPZ圏内の一時的移転に必要な輸送能力の確保<P65>

- UPZ圏内での一時移転は、緊急時モニタリング結果に基づき、対象地域を特定し、1週間程度内に実施。この際、必要となる輸送能力の確保については、北海道及び北海道バス協会が「原子力災害時における住民避難用バス要請・運行要領」に基づき対応。
- 一時移転に必要な輸送手段については、北海道バス協会が、
 - ・後志地域のバス事業者と調整を行い輸送手段を調達
 - ・後志地域内の輸送手段では不足する場合、隣接地域（石狩、胆振、渡島、檜山）のバス事業者と調整を行い輸送手段を調達
 - ・さらに隣接地域内の輸送手段では不足する場合、北海道全域のバス事業者と順次調整を行い輸送手段を調達により必要な輸送能力を確保する。
- 上記手段により確保した輸送手段で対応できない場合、原子力災害対策本部からの依頼に基づき、国土交通省が関係団体、関係事業者に対し、協力を要請する。

地域(振興局)	バス会社	保有台数
後志 (UPZ町村が所在する地域)	6社	1,252台
石狩、胆振、 渡島、檜山	51社	2,340台



北海道内保有バス台数	
地域(振興局)	保有台数
空知、上川、 留萌、宗谷	981台
オホーツク	319台
日高、十勝、 釧路、根室	620台
合 計	1,920台



※不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請